

「患者本位の歯科医療」を追求した

オールオン4、審美、小児矯正を実践

所沢市(埼玉県)のオレンジ歯科クリニックには、年間7万名もの患者が訪れる。これは首都圏平均の実に20倍に相当する。

クリニックのコンセプトは、患者本位の歯科医療。

充実した設備面、豊富な歯科医療サービスだけではなく、患者が「行きたい・行く価値がある」と思える歯科医院を目指している。



理事長 三富 純一(みとみ じゅんいち)
1999年、日本大学歯学部卒業、青山宮原
矯正歯科、横浜インプラントセンター勤務
後、2003年に開業。
日本大学歯学部非常勤講師。



献身的なスタッフ達と年中無休・毎日夜9時までの診療体制を整え、年間7万名の来院に対応している。

歯科医院Ⅱいやいや行く場所からの脱却

普通の患者様にとって、歯医者は心地よい場所ではありません。歯が痛む、仕方ない、あそここの歯医者に行くか・・・、というように(嫌だけど)行かなくてはいけない場所といったところだと思います。私はそんな歯医者イメージを裏切ってみたくて思っていました。理想は、患者様の方から「行きたい」と思える歯科医院です。そういう歯科医院を作り上げることが、私にとつての「患者本位」です。

歯医者の仕事は、患者様のお口の中の「問題解決」です。患者様の話をよく聴いて、治療方法を丁寧に説明する。さらに、

患者様の意見を踏まえ、より良いと思われる治療方法を選択する。そして治療をする。

これをスタート地点として、もう1ランク上の「患者様に喜んでいただける医療サービス」の提供を目指そうと、目指すべきだと考えています。

新しい治療技術、医療設備を「何のために」導入するのか?

現時点で、世界最高の治療技術として「オールオン4」というものがあります。歯を失い総入れ歯になって「食べる楽しみがなくなった」と落ちこんでいる方でも、たった1日の治療で「何でも食べられる歯」を取り戻せるのです。私はこの新しい治療に「患者様の人生を変える

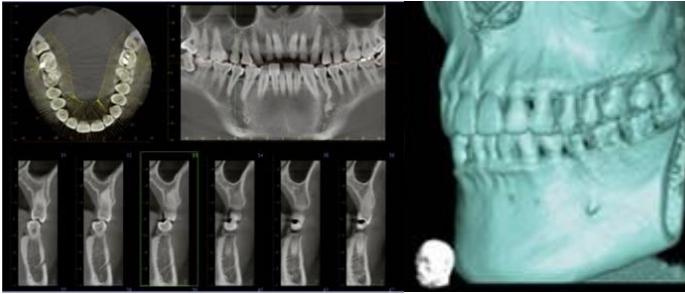


パルコ新所沢店。すべての診療は完全個室で行われる。

可能性」を感じました。そしてオールオン4の開発者であるDr.マローの指導を受けるために、ポルトガル(リスボン)まで赴き、その上で導入を決めました。実際、それだけの価値がある治療です。

最新治療が全てにおいて最良だとは思っていません。しかし、私たち歯科医師が新しい技術、機器を使いこなせなければ、治療における「患者様の選択肢」が少なくなります。要するに、技術や設備が主役なのではなく、それ等を如何にして用いるか、そして大勢の患者様に喜んでいただくか、ということが大切なのです。

「医療最前線 このドクターに聞く」



3D画像で自分の歯や骨を確認し、おどろく患者も多数。
 実に、毎月300名以上のCT撮影を行っている。

最近では、インターネット等で治療法を詳しく調べてから来る患者様もいらつしやいます。そういった意識の高い方々が一番に求めているものが「より正確な診断」です。

当院が歯科用CTを導入した狙いも、正にそこにありました。CTならば、レントゲンだけでは見えない・わからない病巣、痛みの原因を詳しく調べる事が出来ます。さらに患者様に説明する際も、非常に分かりやすい画像(左図)が得られます。

このCTをより活かす為に、一般的な撮影費用(約2万円)を再度検討しました。そもそもCTは診断時に使う設備です。特定症例に限らず、あらゆる患者様にメリットがあります。

ならば、1人でも多くの患者様に「正確な診断」を提供し、喜んでいただけた方が良くと考えました。ですから、当院ではCT撮影・説明に関する費用は一切いただいております。

子供の「歯並び」と親の「負担」を同時に解決

最近では、お子様の歯並びに関する相談が増えています。当院ではTV等でもたびたび登場する「歯を抜かない矯正(床矯正)」を扱っております。一般的な矯正とは違い、取り外しが可能、金属のワイヤーを使わない、痛みが無い、ということ人で人気治療の一つです。

費用面でも、大人の矯正治療と比べれば相当安くなります。しかし、一度治療をしても生えかわりに伴って、新たな火種が生じるなど、成長期特有の問題もあります。中には、2回3回の治療が必要になるケース

も珍しくありません。その他、途中で器具が壊れたり、きちんと器具を付けなかった為、治療をやり直すケースもあります。結局、何か問題が起きる度に費用がかかるため総額がわかりにくく、「一体幾ら掛かるのだ？」という話にもなります。親御様の立場としては複雑です。子供のためには早期治療をした方がいい、でもトータルコストを考えると一回で済ませたい。要は治療のタイミングが難しいのです。

一旦永久歯が生え揃えば、問題箇所の特定制こそ容易ですが、大人の矯正そのものから、治療も長期に渡り、コストも掛かってしまいます。

このような患者様の声を反映し、子供の矯正・歯並び治療の仕組みを根本的に見直ししました。トータルコストを抑えるために、定額の初期費用のみいただき、矯正装置を交換したり、生えかわりに伴う2回目以降の治療でも追加費用は一切いただかないシステムに変更したのです。

その結果、今年に入ってからは矯正治療を選択される患者

様の数が、従来と比べて3倍以上増えていきます。お子様のために安心して早期治療を選択したい、というニーズに少しでも応えられたのではないかと思います。

こういったことも、これからの歯科医院が取り組むべきサービスの一部なのではないでしょうか。



右)治療前には、カウンセリングルームで納得のいくまで説明を受ける。
 左)豊富な症例をベースに、わかりやすく工夫された資料。